# 「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地　2026年日本平和大会in神奈川」まであと1か月余

## ――草の根から平和の運動を広げ、参加の輪を広げ、成功させましょう――

2026年10月16日　第9回実行委員会

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地　2026年日本平和大会in神奈川」まで、あと1か月余となりました。この間の情勢で、大会に向けて草の根から平和の運動を広げ、各地、各団体からの大会参加の輪を広げることが、いよいよ重要になっています。

9月に行われた沖縄県知事選挙では、辺野古新基地建設反対、普天間基地撤去、「沖縄を戦争の拠点から平和の拠点へ」と奮闘してきた「オール沖縄」の玉城デニー知事が、高市政権と軍拡勢力総がかりの攻撃の前に敗れました。しかし、その直後の10月4日に明らかになった普天間基地所属の米海兵隊員による女性殺害事件は、米軍基地と県民の命と安全が両立しないことを改めて浮き彫りにし、「米軍基地の縮小・撤去」「日米地位協定改定を」「新基地建設は中止を」の声が高まっています。

こうした市民の人権を蹂躙し、日本を戦争の足場とする米軍基地の害悪は、沖縄にとどまりません。日本平和大会が開かれる神奈川県・横須賀市でも米兵犯罪が多発し、繰り返しレイプや殺人など凶悪犯罪が繰り返されてきています。そしていま、無法な米トランプ政権いいなりの高市政権下で、米海軍横須賀基地を母港とする原子力空母がイラン沖に展開して空爆を繰り広げ、横須賀母港の米イージス艦5隻がイランへのトマホークミサイル攻撃を行い、罪のない市民の命を奪う拠点となってきました。この横須賀はまた、米攻撃型原子力潜水艦寄港の拠点であり、2032年までに攻撃型原潜に長射程核ミサイルの配備が計画され、これが核持ち込み容認の「非核三原則」見直しの根源になっています。この横須賀・神奈川に、「米軍基地撤去・米軍被害根絶・日米地位協定の抜本改定を」の声と運動を結集しましょう。

この無法な米国の戦争を容認し、米国言いなりに米軍と一体となって他国を先制攻撃する軍事態勢を作ろうというのが、高市政権がすすめている日米軍事同盟強化・大軍拡であり、年内の「安保三文書」見直し＝さらなる大軍拡計画づくりです。来年度防衛予算概算要求では、長射程ミサイルのさらなる大増強、安上がりに大量に攻撃できる無人兵器の大量導入、米国の先制攻撃の命令に瞬時に動員されるAI指揮統制システムの導入などがねらわれています。この道は、軍事費を今の2倍以上の24兆円規模に増大させ、暮らしを根底から破壊する道です。そして、無法な米国の戦争に日本が参戦し、日本を核戦場化させかねない道です。この道を何としてもストップさせなければなりません。その運動を草の根から広げ、2026年日本平和大会に大きく結集し、さらに運動を発展させましょう。

大会の開催される横須賀・神奈川県は、この大軍拡の拠点でもあります。自衛隊イージス艦にトマホークミサイルが配備され、来年度には、護衛艦に長射程ミサイルが配備されます。横須賀市民と神奈川県民は、こうした動きに反対し、8市民団体が共同でトマホークミサイル配備反対署名3万筆を集めました。イラン攻撃出撃に抗議し、米軍基地前で50日間スタンディングを繰り広げ、平和の風を広げてきました。この横須賀・神奈川に、全国の運動を広げ、持ち寄り、交流しましょう。地元・神奈川では、神奈川でしか学べないフィールドワークや多彩な「学びと交流のつどい」を諸団体が力を合わせ準備しています。

■全国で学習パンフを普及し、これを活用した無数の学習運動を広げましょう。■オンラインでのプレ学習企画も活用し、特定利用空港・港湾反対や自衛隊への名簿提供反対など、「わが町を戦争の拠点にするな」の運動を広げましょう。■オンライン国際シンポ（11月14日）の視聴の輪を広げ、世界の変化を学び、日本の進むべき道を学びあいましょう。■日本平和大会に、各地、各団体から若者はじめ参加の輪を広げ、大きく成功させましょう。